

令和 4年 8月 30日

## 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：医療法人社団 水澄み会 グループホームもやいの家うのはな  
施設種類：認知症対応型共同生活介護

新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議の開催を中止とし、参加予定の方々へは文書により事業所活動の報告を行い、意見をいただく事とした。

文書配布：

利用者	人	知見を有する者等	人
利用者家族	9人	地域包括支援センター職員	人
地域住民の代表	2人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			人

### 【報告内容】

#### 1. 現況、活動状況報告

##### 利用者様状況

- ・女性 9名の方ご利用中
- ・介護度 ①・・・3名  
②・・・3名  
③・・・1名  
⑤・・・2名
- ・平均介護度 2.4
- ・利用者様年齢 70歳代・・・1名  
80歳代・・・5名  
90歳代・・・3名
- ・平均年齢 88.3歳

##### ・転倒事故（1件）

居室内の転倒により大腿骨骨折。

早朝、台所業務と巡視・トイレ誘導が重なり、ご様子は確認していたが転倒を防ぐ事が出来なかった。

今後は夜勤の台所業務の終了時間を決め、その後のモーニングケアやトイレ誘導に専念できる状態を作る。また、普段と違ったご様子が見られた時は

声をかけ、危険はないか確認することを取り決める。

- ・退居者 1名
- ・新規入居者 1名
- ・感染対策

コロナワクチン4回目の接種が7月21日に終了。体調不良を訴えられた方は無し。

面会は市内の感染状況により、現在は中止としている。ガラス窓越しの面会は可能。

施設内では、窓を開け空気の流れを作る。職員は出勤時の手洗い消毒・検温、1時間おきの手洗い消毒・入浴介助は2重マスクで行うことを実施中。

### 活動状況

- ・6月の誕生日会
- ・季節のデコレーション作り（あじさいの壁画）
- ・下肢のむくみ予防と歩行の維持に、利用者の方々の体調・嗜好に合わせ運動等行っていた。 (ペダル漕ぎ・階段を使った運動・歩行運動・ボール運動など)
- ・畑・プランターの世話(ミニトマトの収穫)、散歩、外気浴
- ・ラジオ体操、食前の口腔体操、塗り絵、パズル、ドリル
- ・日常的な家事作業(調理・洗濯・掃除)
- ・勉強会「看取りケアと緩和ケア」「避難行動(避難確保計画より)」
- ・web研修「認知症」「リスクマネジメント」「感染症」

## 2、身体拘束等の適正化の取り組み

### 第2回 虐待防止・身体拘束廃止委員会報告

#### 現状報告

- ・身体拘束を行っている事案はなし。
- ・虐待の芽自己チェックからの取り組み進捗確認  
申し送りや情報共有について・・・利用者様の体調や薬に関して共有の意識が出てきている。  
声掛け時の言葉について・・・他職員の声掛けの言葉で気になるものを上げていき、ロールプレイを行いながらどう言い換えると良かったのか話し合う。  
人生の先輩である利用者様の尊厳を大切にしたい関わり方は声掛けから始まる。  
今後も言葉選びや話し方に意識を向けていく。

### 【寄せられたご意見】

12名の方に文書を送らせていただき、8名の方からお返事を頂いた。

#### <ご意見>

- ・時々いただける写真がありがたいです。なかなか中での様子を知る見ることも出来ないの、とても嬉しく思います。これからも楽しみにしています。
- ・この度は写真を同封して頂きありがとうございました。写真を通して様子が判り

安心しております。今後ともよろしくお願い致します。

- ・高齢者施設でのクラスター発生事案、TV でよく耳にしますが、万全な対策をとっておられるようです。今後ご苦労は多いかと思いますが、対策の継続をお願いします。

- ・入居者への温かい配慮が感じられます。言葉がけ一つにしてもスタッフの皆さんで振り返って、改めていく姿勢が目に見えそうです。

- ・虐待防止・身体拘束廃止委員会の報告で声掛けの言葉について、現状で良しとせず、もっとふさわしい声の掛け方があるのではないかと日々意識されている様子がよくわかりました。

- ・益田市内でも多くの新型コロナの感染者が出ており、心配な日々が続いています。コロナ対策のためとはいえ、二重マスクでの入浴介助はとても暑いと思いますので、職員の皆さんも水分補給等、十分にお気を付けください。

以上